

環日本海域環境研究センターシンポジウム  
1. 「環日本海域研究の新展開」成果報告会プログラム

開催日時：平成26年3月6日（木）13:00-17:20

開催場所：金沢大学自然科学大講義棟レクチャーホール

13:00-13:30 受付

13:30-13:40 1.開会挨拶 山崎理事 10分

13:40-14:20 2. 基調講演 王 文興（予定） 40分（発表30分-質疑応答10分）

「中国における大気環境の現状（仮）」

14:20-15:25 3.センター成果報告

全体概要 早川センター長 15分

トピックス

1) 仁宮一章 25分（20-5分）

「イオン液体を用いたリグノセルロースのトータルリファイナリー」

2) 福士圭介 25分（20-5分）

「モンゴル古代湖沼堆積物中に認められたモノハイドロカルサイト：

古環境指標・環境浄化材料としての役割」

15:25-15:40 休憩

15:40-17:15 4.共同研究の成果報告

趣旨説明 早川センター長 5分

重点研究の成果報告 30分（25-5分）

唐 寧（金沢大学薬学系）

「金沢大学スーパーサイト（輪島）を利用した東アジア地域の大气中

有害化学物質の越境輸送に関する研究」

一般研究の成果報告 1件20分（15-5分）

・本多牧生・川上 創（海洋研究開発機構）

「福島原発事故由来の放射性セシウムの海洋堆積物への蓄積に  
関する研究」

・板井啓明（愛媛大学沿岸環境科学研究センター）

「琵琶湖北湖盆底泥からのマンガン・ヒ素溶出機構の解明」

・張 代洲（熊本県立大学）

「九州沿岸地域と北陸沿岸地域のバイオエアロゾルの比較」

17:15-17:20 5.閉会挨拶 早川センター長

18:30～ 交流会 担当者：田中、松木、井上、柿川

想定人数： 環日センター員 18名、 事務 5名

共同研究関係者 5名

基調講演関係者 2名（ご招待） 約30～35名？